FUKUCHI

Public Relations

January 2007 No.12

広報ふくち 1

オリジナルしめ縄で迎春

市場小学校５年１組の子どもたち 31 人が「しめ縄づくり」に挑戦しました。担任の大久保利詔先生が 12 月 19 日に「総合的な学習の時間」で手ほどき。五穀豊穣、家内安全、厄よけなどの意味を持つしめ縄が、自分たちが植えて収穫した稲の藁を選（すぐ）って、形作られました。「玄関に」「自分の部屋に」「自転車に」と子どもたちの飾りたい場所も様々。最後に手作りの橙・裏白・譲り葉を加えて仕上げました。それぞれが、思いを込めたしめ縄に見守られるように、新しい年を迎えることでしょう。

年頭のごあいさつ

行政 *Administration*

福智町長
浦田弘二

新年明けましておめでとうございます。どなたも、新たなお気持ちで新年をお迎えのことと存じます。わたくしも、昨年4月2日に当選させていただき、翌日から職務についておりますが、あっという間に9か月が過ぎてしまいました。この間、タウンミーティングや各集会、そしていろんな行事を通して、まちづくりの考えや方向性をお伝えし、ご理解とご協力をお願いしてまいりました。そうする中で、解決を急がなければならない課題や合併以前の協議で想定された問題以外のことも生じ、その対応に全神経を注いでいるところです。

とりわけ、税等の不納欠損処理や滞納問題では、町民のみなさんの町政に対する信頼を損ねることになり、重ねておわびを申し上げたいと思います。福智町誕生直後の大切な時期でもあり、新町の上昇気運に水をさす形となってしまったことを、行政遂行の責任者として深く反省いたしております。再び繰り返すことのないよう、全職員一丸となって努めてまいる所存です。

ところで、喫緊の課題であります行財政改善を進めるために、昨年7月に行財政改革推進委員会を立ち上げ、この1月末に最終答申をいただくようにしています。また、行政内部でもプロジェクトチームを組んで検討を重ねており、具体的な実行策ができましたら、なるべく早い時期に広報紙等を通してご報告したいと思っています。

平成19年度から、財政の建て直し作業を本格的に進めてまいりますが、町民のみなさんのご理解とお力添えなしでは、一歩も前進することはできません。どうか、希望ある未来の福智町づくりのため、寛容なお気持ちでご協力を賜りたいと存じます。もちろん、町政の中核に据えています教育や観光によるまちづくりの更なる推進と、福祉や農業施策の充実に向けても、全力を傾注してまいりたいと思っています。

末筆ではございますが、みなさまにとりまして、本年が良い年でありますよう、心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきたいと思います。

議会 *Assembly*

福智町議会議長
小松春義

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年、新生「福智町」が発足し、町民の皆様には、期待と希望を抱かれたとともに、発足当初ということもあり、戸惑いや不安もお持ちになったのではないかと拝察いたします。新しい年を迎え、今年は福智町の今後のあり方が、より具体的に見えてくるのではないかと思っております。

福智町は、合併を果たしたとはいえ、依然として厳しい財政状況に変わりはありません。国政での財源不足による地方自治体への転嫁は、顕著になっています。このため、福智町に限らず、地方自治体の財政運営はまったく予断を許さない状況であり、たとえ基金の取崩しで一時を凌いだとしても、3年後から5年後には予算が組めない状況に陥る団体が増加してくるような状態です。

こうした厳しい財政状況を踏まえ、いま福智町では、「行財政改革」に向けての取り組みを議会と行政の両輪で実施しているところでございます。今後、議会ではさらに、町民の皆様から納めていただいた税金や使用料などが、費用対効果などを含めて、最大限に有効活用されるよう見極めていく所存でございます。

また、環境破壊や安全問題をはじめ、食糧、経済問題など、解決しなければならない国際的課題も多々あります。国内では、競争社会や市場経済優先社会の中で、少子化問題やいじめによる自殺の問題など、現代社会がもたらした弊害の中で、生命の尊厳が奪われているという状況もあります。このような中、人が人として尊重され、互いを認め合うまちづくりが、福智町として歩むべき第一歩だと思います。議会といたしましては、町政発展のため、皆様方の声を行政に反映させるべく、鋭意努力してまいる所存でございます。

平成19年が、皆様と福智町のよりよいまちづくりの一歩となることを祈念し、議会を代表してのごあいさつといたします。

Photo：福智町役場から福智連峰をのぞむ

各校代表堂々と

第１回 福智町わたしの主張大会

主催／福智町青少年育成町民会議

次代を担う子どもたちが、未来に向けての夢や社会への意見、日常生活の中で感じたことなど、自分の気持ちを素直に表現した「わたしの主張大会」。12月３日に公民館金田分館で開かれたこの大会で、町内全８校の代表者が堂々と主張を発表しました。

初開催となる今回、会場での発表内容から、福智の子どもたちの思いや考え、希望に触れてみることにしましょう。

この日、青少年育成町民会議のシンボルマーク募集で、デザインが採用された近藤真未さん（赤池中３年）に最優秀賞が渡されました。太陽に、ふくちの「ふ」と「子」の文字があしらわれた斬新なデザインです。

福智町青少年育成町民会議が主催した「わたしの主張大会」。町内の小学校５校、中学校３校、計８校の代表者が会場で力強く主張した。この大会は審査を経て、田川地区大会・福岡県大会・全国大会へとつながっていく取り組み。発表をじっと見守る会場には緊張感が漂っていた。

特集1 わたしの主張大会 2006

赤池中２年 ‖ 永冨 公平（ながとみ こうへい）さん

「環境を守る」

【主な内容】僕たちは学校でＡＲＴ（赤池リバータイム）と題し、昨年度から川の環境問題に取り組んでいます。河川敷の清掃や水質調査を進めるなかで、改めて川の大切さに気づかされました。川を汚している原因の80％以上が、普段何気なく流している生活排水でした。環境破壊は、人間が自分本位で暮らしてきたツケが回ってきた結果だと思います。生物や自然とずっと付き合っていくために、環境を守ることはだれもが当たり前のようにとらえるべき問題だと思います。何もしないで何百年も同じ状態を保てる訳がありません。小さな事から、小さな努力が、環境を守る第一歩につながり、その努力に自然が応え、わたしたちが健康で幸せな生活が送れるようになるのだと思います。ＡＲＴの活動で学んだ「地球的視野で考え、自分の地域で活動すること」をこれからも絶えず意識していきたいと思います。

＝ホッとしました＝

体調が万全ではなかったのですが、無事に終えてホッとしました。

金田中２年 ‖ 中村 優里（なかむら ゆり）さん

「合唱コンクールで生まれる信頼と絆」

【主な内容】いまニュースでは、いじめで中学生が自殺するという悲しい事件が多く流れています。亡くなった命は決して取り戻せません。わたしたちは今自分が生きていることのすばらしさをもっと自覚するべきです。わたしは、金田中の合唱コンクールのような学校行事がもっと多くあれば、このような事件も減るのではないかと思います。生徒一人ひとりが積極的に合唱に参加し、心を一つにして歌に気持ちを込める合唱コンクールは、金田中全体が一致団結する取り組みです。朝、昼、放課後の練習を重ねることに、互いの信頼や絆が深まっていきます。励まし、支え合う合唱コンクールでは、一人ひとりが「かけがえのない存在」だと感じることができます。このように、多くの中学生が学校生活から命の大切さを学ぶことで、自殺という悲しい事件が二度と起こらないで欲しいと願っています。

＝緊張しました＝

会場の真剣な視線がひしひしと伝わってきて、緊張しました。

方城中２年 ‖ 大場 亮太（おおば りょうた）さん

「僕の将来の夢」

【主な内容】「うまい」。こう言って笑顔で食べてくれる姿を見ると、とてもうれしくなる。自分の作った料理を食べてもらえる。僕はそんな仕事をしたい。そう、僕の夢は「料理人」だ。僕は小さいころから「うまい料理」を食べるのが好きで、その料理姿を見るのも好きだった。僕の尊敬する料理人は３人いる。１人目は周富徳さん、２人目は道場六三郎さん、３人目は自分の兄だ。料理する兄の姿は目標であり、あこがれでもある。将来僕は、自分の店を持ち、そこを有名にして、各国を飛び回る世界一の料理人になりたい。３秒に一人、今でも世界のどこかで命が亡くなっているという。この瞬間も子どもたちが倒れている。そんな食糧難で苦しむ世界中の人たちに、僕の料理で「生きている幸せ」をかみしめてもらいたい。みんなを笑顔にしたい。そのためには、どんな苦労も惜しまないつもりだ。

＝夢に向かって＝

ここで発表したように料理人を目指し、がんばりたいと思います。

「あいさつから はじめよう」

上野小６年 ‖ 柴内 梓乃（しばうち しの）さん

【主な内容】 あいさつは相手を思いやる気持ちの出発点だと思います。上野小では「あいさつ運動」で、先生や友達だけでなく、地域のみなさんにも積極的にあいさつをします。わたしは、あいさつのある地域では、誘拐などの事件も防げると思います。いろいろな事件は、あいさつのない、人と人との心のつながりがないところに起こると考えるからです。あいさつにはそれぞれ意味があります。「おはようございます」は「朝早くからご苦労さま」、「おやすみなさい」は「どうぞ早く休んで」という農業に関係した言葉で、相手への思いやりが込められています。「ありがとう」は有り難い、貴重なことだという意味です。このような気持ちがあれば、学校でのいじめもなくなると思います。いつでもだれでも今からはじめられるあいさつ。わたしは今後、一層気持ちを込めて言いたいと思います。

思ったより上手に

少しだけ緊張しました。思ったよりうまく発表できました。

「夢にむかって」

伊方小６年 ‖ 尾辻（おつじ） 星（あかり）さん

【主な内容】 総合的な学習の時間に行われた「わくわくワーク」の職場体験で、わたしは、小さいころからの夢だった「花屋さん」を選びました。職場体験をする前、仕事とは「自分が生活をするため、それを利用する人たちのために働くこと」だと思っていました。しかし今回、花屋さんの店長の言葉に、今までの仕事に対する思いが変わりました。花が好きだからこの仕事を選んだことや花は声をかけるとよく育つことなど、現場で貴重なお話しを聞くことができました。花屋さんの仕事は、お客さんのため、お花のために働くこと。さらに、好きなことができるということだと思うようになりました。わたしは、花を輝かせるのはお客さんのためでもあり、お花のため、自分のためになることに気づきました。今回の貴重な体験を胸に、自分の夢に向かって進んで行きたいと思います。

経験を生かして

過去に主張を経験していたので、落ち着いて発表できました。

「これからの 未来について」

市場小６年 ‖ 宮井（みやい） 愛美（まなみ）さん

【主な内容】 人が生まれながらに持つ権利、人権。今の日本では、その権利を奪う差別やいじめが実際に起こっています。「言葉」と「行動」が、時には凶器になり、人を絶望に陥れます。しかし、本来その「言葉」と「行動」は、人を支えるためにあったのではないでしょうか。人の体は心を入れるための器のようなものです。だから、心の傷で命をも失ってしまいます。人はみな同じ権利を持つと同時に「心」を持っています。いがみ合っても、結局は、自分と人との生きる権利を削っていくだけです。いま北朝鮮では核実験が行われています。このことからも、戦争が起こる可能性も少なからずあります。苦しみと悲しみしか残さない戦争は二度と繰り返してはいけません。今わたしたちが何よりも考えなければならないのは「防ぐ方法」ではなく「起こさない方法」だと思います。

とてもいい経験に

練習不足で自信がなかったけど、とてもいい経験になりました。

「きまりを守る 大人に」

金田小６年 ‖ 藤浦（ふじうら） 麗華（れいか）さん

【主な内容】 わたしがきまりを守る大人になりたいと思ったのは、飲酒による事故の報道からです。この福岡県で3人の幼い命が奪われたのをはじめ、次々と飲酒運転の事故が取り上げられています。しかし、これだけ報じられているのに飲酒運転をする人がまだ存在します。飲酒運転は違法だというきまりを守れない大人の姿に、わたしは疑問を感じました。そこで、飲酒運転をしないためには、まず自分の家族のことを考えたらいいと思います。相手への償いも合わせて、自分の無責任な行動がどれだけの人に影響するかを考えることが大切です。「これくらい」「まっいいか」という軽い気持ちが、重く人の命にかかわってきます。だからわたしはみんなで楽しく生活するために、きまりを守る大人になります。福智町全体がそんな考えの人でいっぱいになれば、すてきな町になると思います。

本番ではドキドキ

練習は大丈夫でしたが、本番会場の雰囲気に緊張しました。

「心つながる 応援合戦」

弁城小６年 ‖ 久冨（ひさとみ） 愛実（まなみ）さん

【主な内容】 わたしたち弁城小の運動会は、全校を4つのグループの縦割り班に分けたチームで対抗して行っています。たくさんある種目の中でも応援合戦は特に負けたくない競技です。わたしたちのグループは、6年生を中心に曲と振り付けを考えました。その過程で、思ったことを口にすることや人を信じること、思いやる気持ちの大切さを学びました。練習で、ぽんぽんを両手に、踊り、歌い、協力した毎日。本番では間違えることなく、いつも以上に声を出すことができました。これまでのみんなのがんばりが、自分の胸に伝わり、気がつけば会場で夢中に踊っている自分がいました。手を伸ばし、足を突き出し、最後のポーズを決めたときには、班のみんなの心が本当に一つになれた気がしました。こんなすてきな応援合戦を弁城小の伝統として、ずっと引き継いで欲しいと思いました。

途中から落ち着けた

始めのうちはドキドキしました。途中からリズムに乗れました。

子どものいじめや自殺の報道が頻繁に目に飛び込んでくる今日（こんにち）。このような痛ましい事件を起こさないためには、家庭が子どものサインを見逃さず、地域が子どもとのつながりをより深めることが必要です。また、親や大人の生きる姿が子どもたちの目にどのように映り、その心の成長にどう影響を与えているかを考えることも大切。今回会場で主張し、たくさんのことを投げかけ、気づかせてくれたみなさん。「緊張した」という感想が多かったですが、一人ひとり落ち着いて、堂々と発表できていました。講評は次のとおりです。

青少年育成町民会議 ‖ 田島 靖 会長

発表したみなさんは、自分の考えをしっかり持っていて、それぞれの夢や希望が確実に伝わってきました。福智町になって初開催した「わたしの主張」ですが、とても意義深い大会になったと思っています。

教育委員会 ‖ 桑野 隆泰 教育長

たいへん聞き応えがありました。みなさんがいろいろな夢や問題意識を持って、前向きに考え、行動していることをうれしく思います。聞き終わった感想を一口で言うなら「すがすがしい気持ちにさせていただいた」と感じました。ここで、福智町の子どもたちに伝えたいのは「感動する心をお互いに持ってほしい」という事です。そのためには、日ごろからたくさんの自然や本に接し、音楽や絵、身近な陶芸などの芸術に親しむこと。そして積極的に多くの人と交わり、たくさんのよい友達を作ることが大切だと思います。そのことが、まず自分を豊かにして、家庭、学校、地域、そしてこの福智町を明るく楽しい町にすることにつながっていくと信じています。

FUKUCHI INFORMATION

ふくちインフォメーション

本答申の前に提示

中間答申

来年度の予算編成を見据え 行財政改革推進委員会が中間答申

窮迫した財政を立て直し、合併効果を生かした新町のまちづくりが急務になっている福智町行政。行財政改革推進委員会は、浦田弘二町長の諮問を受け、7月から毎週1回のペースで福智町の行財政改革について議論を深めてきました。この度、その改革の中間答申がまとまり、11月27日に森山沽一会長（福岡県立大学教授）が答申書を浦田町長に手渡しました。

この中間答申は、町が来年度の当初予算編成をする前に、同委員会が一定の方向を示そうと出されたもので、最終的な本答申は、1月中にまとめられる予定です。大まかな内容を先月号の特集でお知らせしましたが、本答申を前にした中間答申でしたので、詳細は掲載していません。

町では行財政改革推進委員会の答申を踏まえ、改革の具体的な方策を検討する組織を庁内に設置して進めていく方針です。これら、町の行財政改革についての詳しい内容は、本答申が出された後、内容がまとまり次第、広報紙でお知らせします。

問 行財政改革推進委員会事務局（福智町総務課庶務係） ☎（22）0555

浦田弘二町長に行財政改革の中間答申書を手渡す森山沽一会長、横は荒巻久美子副会長と中原和義副会長（11月27日・町長室で）

12月31日現在で実施

工業統計

工業統計調査にご協力を

「工業統計調査」は、我が国の製造業の実態を明らかにするため、明治42年から始まった統計調査で、大正9年から毎年行われています。昭和22年からは国の指定統計調査となり、対象となった全国の製造業の事業所には申告の義務があります。

「工業統計調査」は、毎年12月31日現在で実施しています。今回も12月中旬から下旬にかけて調査員が事業所にお伺いして調査票を配布いたします。12月31日現在で記入していただいた調査票は、1月中旬ごろに調査員が再びお伺いして収集します。対象となった製造業の事業所のみなさんは、ぜひご協力をお願いします。

（経済産業省・福岡県・福智町）

問 福智町企画課企画係 ☎（22）7766

お待たせしました

営業開始

日王わくわく物産館 待望オープン

来客でにぎわう「わくわく物産館」店内は明るい雰囲気

ふるさと交流館日王の湯の敷地内施設を活用した「日王わくわく物産館」が12月7日にオープンしました。

運営は利用組合が行い、パン・豆腐・かりんとうなどの加工品、野菜・米・乾物・鮮魚・調味料・雑貨と幅広い品ぞろえ。特に、パンと豆腐は作りたてをその場で販売しています。温泉利用者などの口コミから徐々に客足が増え、評判も上々。今後、定休日の設定や内容の充実も含めて検討される予定です。また、運営が落ち着いたころに、広報紙で詳しくご紹介します。

問 福智町産業振興課産業・商工観光係 ☎（22）7767

団員が一堂に会して

堂々開催

下田川2ヶ町連合消防出初め式

新町が誕生して初めてとなる「出初め式」が、福智町金田ふれあいスポーツ公園で開催されます。今回から4町が2町になりましたが、従来どおり下田川の規模で開かれます。当日は会場に消防車両などが集まり、各表彰も行われます。どうぞお気軽にご覧いただき、福智の消防魂を胸に行進する団員たちに、熱いエールをお願いいたします。

［日時］1月14日㊐ 8時30分集合・9時開始

［会場］福智町金田ふれあいスポーツ公園（多目的グラウンド）雨天時は金田体育館

問 福智町総務課消防防災選挙係 ☎28-0555

中村博樹団長以下378人が集います。

市町村代表者が参加

私の主張

田川地区大会代表に 永冨公平さん（赤池中2年）

地区大会の福智町代表に選ばれた永冨公平さん。演題は「環境を守る」。実体験を生かした内容で、力強い発表が期待されます。

審査の結果を経て、地区大会・県大会・全国大会と、子どもたちが思いを発表する「わたしの主張大会」。先に掲載した大会では、田川地区大会への出場者選考が行われました。その結果、赤池中2年の永冨公平さん（赤池生力NT）が選ばれ、福智町を代表して発表します。大会では田川地区の市町村から代表者が集います。ぜひ永冨さんに声援をお願いいたします。

［日時］2月3日㊏ 10時開会（9人が主張を発表）

［会場］川崎町勤労青少年ホーム

問 福智町教育委員会生涯学習係 ☎28-2046

事故についてのお詫び

平成筑豊鉄道株式会社

12月6日、6時36分ごろ、直方駅発行橋駅行き列車（ワンマン1両編成）が、人見駅から金田駅までの約700メートルをお客様が車外の手すりにつかまり、後ろドアにつま先が挟まった状態で走り、怪我を負わせる事故を発生させてしまいました。沿線地域のみなさまには、ご心配とご迷惑をおかけし、安全な公共交通機関への信頼を損ねる結果となりましたことを深くお詫び申し上げます。弊社では本件を重く受け止め、再発防止策を講じ、今後このような事故が起こらないよう、指導教育の強化を図ってまいります。

平成筑豊鉄道株式会社（本社・福智町）
☎22-1000

アンケート中間報告、講演会で見えてきた

「人権と福祉のまちづくり総合計画」の姿

▼12月4日から10日までの人権週間。町内では人権に関する啓発行事や相談事業などが行われました。メーン行事となった「人権と福祉のまちづくり講演会」では、福岡県立大学の豊田謙二教授が「福智町人権と福祉のまちづくり総合計画」のアンケート結果を説明。行政主導ではなく、公募による住民参加型で進める計画づくりについて、その概要と今後わたしたちに求められる人権意識について語りました。

↑12月8日に地域交流センター（伊方）で行われた「人権と福祉のまちづくり講演会」。およそ300人が参加し、資料を手に理解を深めました。

人権と福祉のまちづくり総合計画（案）

体系図

- 人権分野
  - 地域における人権教育
    子どもをとりまく地域づくりや町民への人権啓発など
  - 特定職業
    人権問題と深く関わる職業従事者の研修など
  - 学校制度
    人権の視点に立った進路・学力保障や地域との連携など
  - 人権擁護
    人権侵害の際の救済など
- 保健・福祉分野
  - 地域福祉
    地域福祉計画の策定など
  - 障がい児・者
    自立支援法・発達障がい支援法に関する計画など
  - 高齢者
    高齢者保健福祉計画の策定など
  - 子育て
    次世代育成支援対策推進行動計画の策定など

The Human rights

演題 **「人権と福祉のまちづくりに向けて」** 講師 **福岡県立大学 豊田 謙二 教授**（講演の概要）

日本の高齢化は、これからどんどん加速していきます。

2050年くらいになると、3人に1人が65歳以上という社会になります。しかし、そこで話は終わらない。これから百年間、このような高齢化の時代が続いていくのです。やがて、今までの世界史上では考えられない、すごい社会が訪れてきます。ということは、この先、ほとんどの↘

のかたがお年寄りとなる社会になると考えていいのです。その時、まわりを見渡すと、お年寄りの中に、たまたま若い人がいるという感じです。ですから、今からの百年間、このような状況を念頭に置きながら、サービスや施設など、いろいろな事を変えていく必要に迫られてきます。

▼ドイツでは、大学の入学金も授業料も学生の自己負担はわずかです。学生が奨学金を受けつつ、生活費をアルバイトで稼いで学びたいことを学んでいます。つまり「自立」できているということです。しかし、日本ではそれが難しい。親の援助なしには、なかなか一人では生きていけない。だからだれにも頼らずに自分で決めて、自分で生きていく「自己決定」ができないのです。例えば、結婚も「個」と「個」ではなく「家」↖

と「家」との結びつきが強いですよね。我々でさえ「自己決定」、「自立」ができないのに、障がい者の人たちにとっての「自立」は、さらに難しいと言えます。

「人」という字で言えば、支えの部分、そこに公や社会の支えがないと自立は困難です。日本はとかく不安な社会でありながら、公的な支えがないから家族に頼らざるをえなくなる。学生も高齢者も1人での生活はリスクが多すぎます。日本での生活は、家族から離れられないものになっているのです。そこで、福智町の「人権と福祉のまちづくり総合計画」の中には、この「個を支える」という部分を重視していかなければならないと思うのです。

▼福智町の住民アンケートの結果で示されたように、我々は「差別がある」という現状を肝に銘じて、これをなくしていかなければなりません。計画は作る過程も大事ですが「どうやって実施していくか」という点で、住民と行政とが、いかに手を合わせられるかも重要だと思っています。

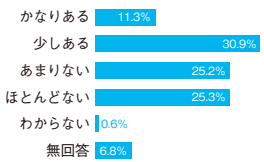
▼人権を語るとき、わたしが好きな言葉が、フランス革命後の1789年に出された「フランス人権宣言」です。「人は生まれながらにして自由かつ平等である」という言葉。例えば、日本国憲法では「日本国民は」ですよね。それを日本が江戸時代だったころ、すでに「人は」と表している。「だれでも」という感覚です。しかも「自由」だけでなく「平等」がそこに入っています。

▼わたしは、人権が保障されているということは「幸せになること」だと思うのです。わたしたちは幸せになるために生きている。その「人が幸せになる」ということを決して妨害してはならないのです。それが人権を守るということだと、わたしは思います。だからこそ、わたしたちに何かあったときの相談窓口、一人ひとりが幸せになるために救済する方法を考える制度が必要になってきます。この点においても現在「人権と福祉のまちづくり総合計画」の中で議論しています。

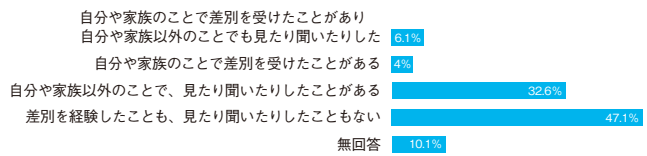
▼わたしたちの社会では、必ず上下関係が入ります。言葉で平等と言われていても平等ではなく、そこに中身がありません。例えば、学生がわたしのことを「先生」と呼びます。日本では、英語の「YOU」的な表現があまりできない。女性のかたでは「夫」のことを「主人」と呼ぶ人もいます。「夫」に対する言葉は「妻」ですが、「主人」に対する言葉はありません。「お兄ちゃん」には「ちゃん」がつきますが「弟ちゃん」とは言わないでしょう。小さな言葉の問題ですが、わたしは言葉から見直さなければ、意識も変わらないと考えています。日常の言葉でも注意しながら「平等」ということをどう実現していくか、どう言葉で表現していくかが、とても大事だと思います。

▼このようなことを考えながら、みなさんには計画づくりに参加し、関心を持っていただきたいですし、実行するにあたっては、ぜひ一緒に進めて、いい町にしていきましょう。

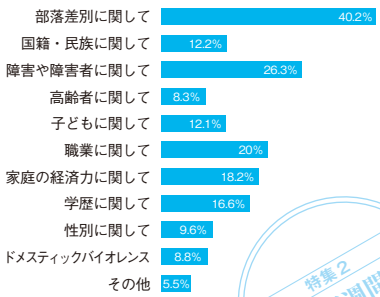
問 福智町ではまだ部落差別がありますか



問 差別を経験したことがありますか



問 経験した差別の内容は



アンケート分析中

▶4200人の住民を対象にした福岡県立大学・豊田謙二教授の社会原論演習で行ったアンケート集計がほぼ終わり、現在、分析作業が進められています。回収率は86%で、3600人のみなさんの回答をいただきました。今回、その結果の一部を掲載しましたが、このことから福智町内にも差別が根強く残っていることが分かります。「合併に関する住民アンケート」の結果も合わせて、本年度中に報告書がまとめられる予定です。内容は「広報ふくち」でも掲載する予定です。▶なお「自立支援フォーラム」を1月27日㈯に開催、「人権と福祉のまちづくり総合計画中間報告会」を1月28日㈰に開催する予定です。詳しくは折り込みのチラシ案内をご覧ください。

特集2 人権週間 2006

人権ふれあいウオーキング大会

福智町の人権週間をしめくくった「第4回人権ふれあいウオーキング大会」。赤池地区を舞台に、360人の参加者は、地域や町を見つめながら人とふれあい、会話をはずませながら自分と周りの人の大切さを感じました。ここで参加者の姿とともに、貴重な一日を振り返ります。

町をみつめ、ふれあい、心通わせ。

人権週間の最終日となる12月10日、「人権ふれあいウオーキング大会」が赤池地区全域を舞台に開催されました。昭和62年から16年間行われた「人権駅伝大会」からの歴史を持つこの大会。平成14年に駅伝からウオーキングに変わり、今回で4回目を数えます。開催決定からの期間が短かったため、十分周知ができませんでしたが、それでも約360人が参加。赤池A・B・C、上野A・Bの計5コースから希望のコースを選択し、1チーム4～6人のメンバーが、手作りの「人権の旗」を先頭に歩きました。設定されたそれぞれのコースは、およそ4㎞。ワィ・ワィ・ワ広場と上野小学校で開会行事が行われ、赤池地区運動普及推進員「さくらきらら」のみなさんの指導による準備体操で、体をほぐしました。

参加したみなさんは、普段ではゆっくりと歩くことのない道で、季節の移ろいや環境の変化を肌で感じながら歩を進めていました。日ごろ意識しない位置から、また、見たことのない角度から町をながめ、会話をはずませながら自分の存在と周囲の人の大切さ、ふれあうことのすばらしさを実感した様子でした。

やがて、およそ90分ほどの道のりを終え、ゴールで待っていたのは、恒例のあったか～い猪鍋。閉会行事はワィ・ワィ・ワ広場で行われ、ここに全コースの参加者が集いました。寒風に湯気を立ちこめる2つの大鍋から伝統の郷土料理が振る舞われ、身も心も、そして、体の中まで温まりました。町を見つめ、人とふれあい、心を通わせた「ほのぼのとした1日」が、人権週間をしめくくりました。

私がいて、みんながいる。実感できた4㎞。

歩き・ふれあい・猪鍋で
心もからだも
おなかの中まで
あったまりました。

昭和62年からの「人権駅伝」以来、毎回参加者の体を温め続けてきた「猪鍋」。今年も田川猟友会の協力で閉会式終了後1000人前の猪汁が振る舞われました。

男だから？ 女だから？

女性も男性も自分の意思で社会に参画し、やさしく支え合い、喜びも責任も分かち合う。そんな社会づくりが、みんなの幸せにつながっていくと、わたしたちは考えます。

もし、女だから、男だから、という理由だけで、したいことができなかったり、特定の仕事や役割が偏っているとしたら…。社会のしくみを見直す必要があります。

男女共同参画社会を目指して

男女共同参画社会の定義

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会。（男女共同参画社会基本法 第２条から）

男女共同参画社会基本法

平成 11 年６月に公布・施行され、男女共同参画社会を実現するための５つの基本理念を定め、国、地方公共団体、国民の責務を明らかにしています。

1 男女の人権の尊重
男女の個人としての尊厳を重んじ、男女の差別をなくし、男性も女性もひとりの人間として能力を発揮できる機会を確保する必要があります。

2 社会における制度または慣行についての配慮
固定的な役割分担意識にとらわれず、男女が様々な活動ができるよう、社会の制度や慣行の在り方を考える必要があります。

3 政策等の立案および決定への共同参画
男女が、社会の対等なパートナーとして、いろいろな方針の決定に参画できる機会を確保する必要があります。

4 家庭生活における活動と他の活動の両立
男女が対等な家族の構成員として、互いに協力し、社会の支援も受け、家族としての役割を果たしながら、仕事をしたり、学習したり、地域活動ができるようにする必要があります。

5 国際的協調
男女共同参画社会づくりのために、国際社会と共に歩むことも大切です。他の国々や国際機 関とも相互に協力して取り組む必要があります。

人間らしさを学んだ　金田小５年公開授業

文部科学省研究指定「国語力向上モデル事業」の委嘱を平成17年度から受けている金田小学校（原田宏志校長・児童数５１８人）。「確かな表現力を育てる『書くこと』の学習指導の研究」をテーマに研究を進め、11月24日に行われた公開授業では、多数の学校関係者が訪れました。

その中の５年生の取り組み「あなた男でしょ！　君、女だろ！」～「男らしさ・女らしさ」について意見する～では、男女共同参画社会に向けた取り組みのポイントになるような内容を見ることができました。

その授業は「男の子はいいよね」「女の子は恵まれてる」といった異性に対する感情に着目し、そのことは互いの尊敬から生まれるのではなく、むしろ、いがみ合っているのではないか…という切り口から子どもたちの提案を主体に展開。男として、女としての「良さ」「すばらしさ」などの人間の「徳」につながる部分を見いだし、それぞれの「らしさ」を生かしながら「良さ」へと向かわせるべきだという方向に討論が進んでいきました。そして最終的には、それが「人間らしさ」につながっていくことを子どもたちは学びました。

この授業では、ほかにも４つのテーマを設け、児童たちは住民へのインタビューをはじめ、本、インターネットなどの情報を自分の意見の参考にしながら理解を深め、最後に作文でその思いを表現しました。

このように、金田小５年生の授業で見られた、男性・女性の「らしさ」を認め合いながら、それぞれが「ひとりの人間」として尊重される社会づくりの視点は、男女共同参画社会の実現において、とても大切だと感じました。

福智町では「少子高齢化の急速な進展」「子どもを安心して生み育てることができる社会の実現」「個の人権が性別に関係なく平等に尊重される社会の確立」など、現代社会に求められている課題を踏まえ、男女共同参画社会の実現に向けた第一歩として「第１回福智町男女共同参画講座」を開催します。どうぞ、みなさんお誘い合わせのうえお気軽にご参加ください。

５年３組

５年１組

５年２組

支えあい 認めあい すてきに生きる

第１回 福智町男女共同参画講座

男女が互いにその人権を尊重しつつ、喜びも責任も分かち合い、性別にかかわりなくその個性と能力を発揮することができることを目指した「男女共同参画社会」。その実現に向けた第一歩にするため、福智町では初めての講演となる「第１回福智町男女共同参画講座」を次のとおり開催します。

日時　1月21日（日）
14:00～16:00

会場　福智町公民館 金田分館
２階ホール（平成筑豊鉄道金田駅裏）
託児が必要なかたは事前にご連絡ください。

内容
14:00～【報告会】
2006 年度福岡県女性海外研修事業「女性研修の翼」参加者報告会
報告者：山尾勝子さん（上野）
市川英子さん（伊方）

14:30～【講演】
「支えあい 認めあい すてきに生きる」
～女性たちのネットワークを目指して～

●講師
福岡県男女共同参画センター「あすばる」館長
中嶋　玲子さん
（財）福岡県女性財団副理事長
旧杷木町前町長

問 福智町役場企画課 企画係　☎22-7766

女性・男性がともに歩む町づくり

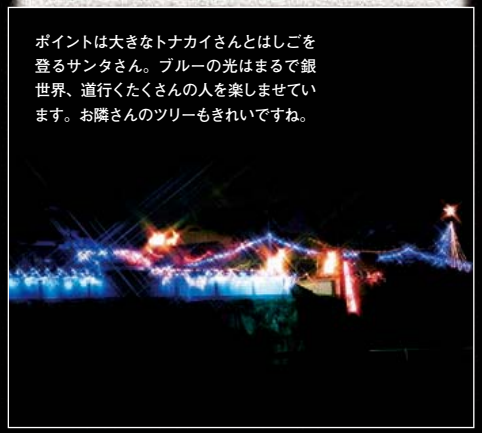
「お宅訪問」アポなし突撃取材。

町で見かけたすてきなイルミネーション

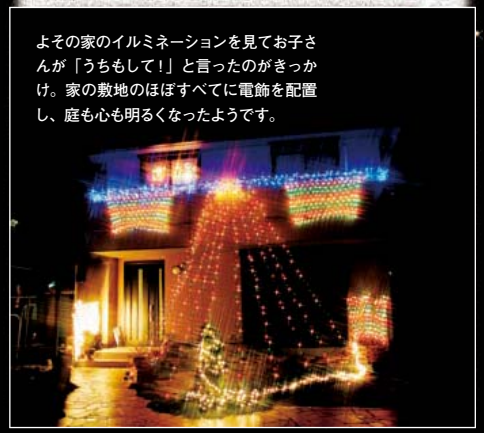
「こんばんは」広報ふくちです。
ひょっとして、このページを開いているいま、お昼かもしれませんが、この特集では、神秘的なふくちの夜をご覧ください。
夕闇に瞬き、キラキラ夜道を照らし、みんなの心を躍らせたイルミネーション。すてきに飾られたお宅を町で見かけ、その光りに招かれるように訪問させていただきました。この感動をみなさんにお届けできるよう、心を込めて光りを封じ込めました。
今回は住所も名前もあえて掲載していません。
「あれっ、ここは、どこのだれの家？」と思う人がいるかもしれませんが、ぜひみなさんの心の中に残るイルミネーションと静かに照らし合わせてみてください。そしてまた「こんな電飾がこの町にあるんだ」という発見も中にはあるはず。
それぞれで幻想的な光りの家をお楽しみください。

ある駅のホームの横にあるこの家では、平筑から降りた人たちをかわいい汽車がお出迎え。「いつもきれいなイルミが見られてうれしいです」と乗客にも好評です。

孫が喜ぶのでイルミネーションを始め、やっているうちにだんだん自分たちも楽しくなってきたと語る奥さん。だんなさんが手に入れた4mの竹を利用したツリーが特徴。



ポイントは大きなトナカイさんとはしごを登るサンタさん。ブルーの光はまるで銀世界、道行くたくさんの人を楽しませています。お隣さんのツリーもきれいですね。



よその家のイルミネーションを見てお子さんが「うちもして！」と言ったのがきっかけ。家の敷地のほぼすべてに電飾を配置し、庭も心も明るくなったようです。

「明るい町にしたい」という思いが込められたこの家のイルミネーション。プランコに乗ったサンタクロースは、子どもたちにも大人気だそうです。

車道沿いに立ち並ぶ家々が美しい電飾をまとい、運転中にも思わずうっとりしてしまいます。明るく照らされた大通りは、まさにイルミストリートですね。

あえて色を多く使わず落ち着いた光を表現するというこだわりを見せるイルミネーションは今年で９年目。ご家族で手作りしたオーナメントの数々が優しく光ります。

家族みんなで、どんな風にしたらきれいに見えるかを考えながら飾り付けたという大規模なイルミネーションは、今年で６年目。テレビでも放送されたことのあるこの美しい光を見に、この日も友だちやご近所のかたが訪れていました。

数年前、家の前を通りかかった子どもが「このおうちきれい！サンタさんが来るんだろうねー」と言う声が聞こえて、イルミで子どもたちに夢を与えたいと思ったそうです。見に来てくれるたくさんのお客さんに、もっとゆっくり眺めてもらいたいとの思いから、3年前に自宅前の空き地に足場を建て、幻想空間を作り出しました。計1万球以上のライトが見事です。

冬場は夕方になると真っ暗になるので防犯のために何かできれば…　と家族で話し合って始めたイルミネーション。来年はさらにバージョンアップの予定です。

電球やオーナメントのセレクトから飾り付けまで奥さんが手掛け、かわいらしく優しい雰囲気にまとまっています。室内のツリーがガラス越しに見えるのもおしゃれ。

4年前にイルミネーションを始め、毎年増えていく飾りは、今や2か月前から毎週週末に飾り付けをしても追いつかないほど。星のデコレーションがかわいいお宅です。

広いベランダを利用して、2階に飾り付けられたイルミネーション。見上げてみると、色とりどりのお星様のシャワーが降ってきているみたいでとてもきれいですね。

イルミネーションがきれいな友だちの家を見て感動し、我が家でもやってみようとご家族で試行錯誤。出窓に映り込む光がより一層の輝きを放っています。

優しい奥さんが孫の目線に合わせて、低い位置に飾り付けたイルミネーションのテーマはメルヘン。トナカイがひくソリには、なんとプレゼントが入っています。

子どものためにと、お父さんが6年ほど前から始めたイルミネーション。最近は「きれいですね」と声をかけてくれる人たちの笑顔も、飾り付けに力が入る要因です。

高台に建つこの家は、遠くから見ても一目で分かる大きなお星様と、金網を飾るかわいいベルのデコレーションがポイント。お隣さんと、仲良く輝いています。

みなさんいかがでしたか。キラキラまばゆいイルミネーション、おとぎ話のようなかわいらしいイルミ、ほんのりあたたかいイルミ…実際に見ていて、時がたつのも忘れてしまいました。イルミネーションなだけに、各家庭それぞれで個性が「キラリ！」。今回、いきなりの訪問にもかかわらず快く取材に応じてくださったみなさん。本当にありがとうございました。温かいおもてなしに、寒い中の取材も心身ともにポッカポッカでした。それから付け加えますが、福智町にはこのほかにもすばらしいイルミがたくさんあります。すべては掲載できませんでしたが、また機会があれば「広報ふくち」はチャレンジします。光りに照らされた、すてきな福智の夜。新しい年、町中すべてのご家庭に幸せが降りてきますように…。

褒章 叙勲

11月3日付けで平成18年秋の叙勲受章者が発表され、町内から杉茂さんに藍綬褒章が、村上慶悉さんと冨永和子さんに瑞宝雙光章が伝達されました。（年齢順に掲載）11月に都内での伝達式と皇居宮中での拝謁にそれぞれが出席しました。この栄典制度の叙勲と褒章は、毎年春と秋に発表されます。叙勲は公に対する功労者が対象で原則70歳以上、褒章は社会的分野で優れた業績をあげた人が対象で原則55歳以上に授与されます。

藍綬褒章 | 杉 茂さん

およそ35年もの間、旧金田町の選挙管理委員を務め、長きにわたりその委員長として職務を遂行した杉茂さん（金田本町・76歳）。その間、選挙では一度のミスもありませんでした。「みなさんの温かい支えのおかげで責務を全うすることができました。これはわたくし個人ではなく、旧金田町の的確な選挙事務が受章したものだと受け止めています」と、あくまでも謙虚に喜びを語りました。

瑞寶雙光章 | 冨永 和子さん

昭和53年から30年間にわたり保護司を務めた冨永和子さん（伊方犬星・75歳）。保護観察処分を受けた青少年や刑期を終えて出所した人の社会復帰を支え、見守ってきました。平成3年秋に民生委員活動等で藍綬褒章を受章された夫・武元さんと、ご夫婦そろっての喜びの受章です。「常に母親になったつもりで接しました。受章は身に余る光栄です」と更生保護活動を振り返りました。

瑞寶雙光章 | 村上 慶悉さん

昭和31年から教諭、県教委社会教育主事を経て、昭和58年から11年間、真崎小、赤池中、市場小と学校長を歴任した村上慶悉さん（上野常福・73歳）。退職後は赤池町教育委員を経て平成8年に赤池町収入役に就任。財政再建やペイオフの対応など9年間にわたる公務に尽力されました。「これまでの皆様方のお力添えとご厚情に心から感謝いたします」と受章の感謝を表しました。

長年の労と功績をたたえ、栄えある受章

日頃の修練、技、成果がもたらした表彰

表彰 受賞

11月から12月にかけて、町内から功労表彰をはじめ、福岡県シニア美術展、第6回福岡県ねんりんスポーツ・文化祭での受賞者が続出しました。なお、11月14日に同文化祭で行われた高齢者福祉功労者表彰で、藤掛修市さん（赤池伏原）、故・前山直さん（赤池中町団地）、植髙芳己さん（金田平原）、森野久七さん（上金田）、福田昌さん（東金田）、堀江桝美さん（神崎2）の6人のかたが、福岡県老人クラブ連合会会長表彰を受けました。

九州経済産業局長表彰 | 髙鶴 智さん

上野焼庚申窯を息子の享一さんと営む髙鶴智さん（上野上小路）。自然体で作陶に取り組みながら上野産の陶土にこだわり、熟練した技法で多くの秀作を生み出してきました。今回、伝統工芸振興の功労が評価され、12月5日に福岡市で九州経済産業局長表彰を受けました。

2006福岡県シニア美術展 県知事賞 | 井上 数夫さん

竹工芸で全国展銀賞、西部工芸展入選の実力を持つ井上数夫さん（赤池生力NT）。11月14日に大野城市で県シニア美術展工芸部門最優秀賞の県知事賞を受賞しました。受賞した花籠の作品名は「千鳥」、平成15・16年と同賞を連続受賞し、今回3回目の受賞になりました。

県将棋大会 一位 | 原田 美喜男さん
三位 | 桑野 博行さん

11月12日にクローバープラザ（春日市）で行われた第6回福岡県ねんりんスポーツ・文化祭の将棋交流大会で、原田美喜男さん（金田昭和町）がEパートで見事優勝。桑野博行さん（市場猿田）がFパートで3位に入賞しました。

県ゲートボール大会 入賞 | 赤池・松尾チーム

11月12日に福岡市で行われた県ねんりんスポーツ・文化祭のゲートボール大会で、赤池・松尾チームが3戦全勝。コート優勝を果たし、参加72チーム中5位の成績を残しました。選手は松尾マツ子さん（岩屋組）、立川忠義さん（西町）、手銭昭典さん（板取）、山本弘さん（板屋団地）、太田富子さん（大久保）。

忘れずに！ 平成19年度 福智町一般競争（指名競争）参加資格審査申請　（指名願い）の受付

町内建設業者

代表者の住所が福智町内に有し、かつ、営業拠点が福智町内にある者
【有効期限：平成19年度（1年間）】

1 受付場所：福智町役場（本庁3階303会議室）
2 受付期間：平成19年3月1日㈭～9日㈮
（休日を除く午前9時～午後4時まで）
3 提出方法：平成19年3月1日を基準とし、次に掲げる書類を添えて提出すること。提出は持参のみとする。（ファイル綴じ不要）
① 中央公共工事契約制度運用連絡協議会（中央公契連）統一様式（A4版）を準用
② 総合評価値通知書の写し：有効期限内のもの（決算日より1年7か月以内）（通知書がない場合は総合評価値等通知書申請書の写し）
③ 建設業許可証明願書写し（県発行）
④ 工事経歴書
（申請直前2年間の主な完成工事および未成工事について記載すること）
⑤ 営業所専任技術者名簿の写し
（県・地方整備局等の受領印を押した専任技術者証明書の写し）
⑥ 技術職員名簿（合格証明書・登録証・免許証等の写しを添付）
⑦ 役員一覧表（法人の場合は法人の登記簿謄本）
⑧ 印鑑証明書（法人の場合は法人の印鑑証明書）［原本・有料］
⑨ 使用印鑑届（使用印鑑のない場合は不要）
⑩ 代表者の身元証明書（本籍地役所発行）［原本・有料］
⑪ 代表者の住民票（役場住民課発行）［原本・有料］
⑫ 主要取引金融機関名
⑬ 福智町税：公共料金完納証明（福智町指定様式）［原本・有料］
(1) 国民健康保険税（住民課）
(2) 町民税・固定資産税・軽自動車税・法人税（税務課）
(3) 介護保険料・保育料（福祉課）
(4) 住宅新築資金・住宅改修資金・宅地取得資金（人権同和対策課）
(5) 水道使用料（水道課）
(6) 町営住宅使用料（住宅課）
(7) 公有財産使用料（財政課）
(8) 学校給食費（福智町教育委員会学校教育課［赤池支所内］）
※ 上記いずれの項目において保証人となっている場合は、その債務者の完納証明。
⑭ 県税納税証明書（田川県税事務所）
⑮ 労働保険料納入証明書（田川労働基準監督署発行）
［納入証明書は完納証明とします］
⑯ 国税納税証明書および消費税納税証明書（田川税務署発行）［その3の3］
⑰ 中小企業退職金共済制度、建設業退職金共済制度または特定退職金共済組合のいずれかの加入証明書
⑱ 委任状（支社・支店等に委任する場合）

■ 注意事項
※ 税に係る証明は、法人の場合は法人・代表者それぞれ提出してください。
▶法人の場合…福智町税（公共料金完納証明）、県税（法人県民税・法人事業税［未納のない証明］）、国税（法人税・消費税および地方消費税［その3の3］）
▶個人事業主の場合…福智町税（公共料金完納証明）、県税（個人事業税・自動車税［県税について未納のない証明］）、国税（所得税・消費税および地方消費税［その3の2］）
※ 申請書は上記の番号順にとじてください。なお、A4版より小さい証明書等は、A4版白紙に糊付けし一緒にとじてください。
※ ② 総合評価値通知書の評価値算定方法は平成18年5月に変更されました。

測量建設コンサルタント等（町内・町外）物品等（町内・町外）

【有効期限：平成19年度～平成20年度（2年間）】

1 受付場所：福智町役場（本庁3階303会議室）
2 受付期間：平成19年3月12日㈪～30日㈮
（休日を除く午前9時～午後4時）
3 提出方法：持参（郵送不可）ファイル綴じ（色指定あり）

■ 測量・建設コンサルタント等
【ファイルの色：グリーン系】
① 中央公共工事契約制度運用連絡協議会（中央公契連）統一様式（A4版）
② 登記簿謄本（法人の場合）または身元証明書（個人の場合）
③ 登録証明書等
④ 財務諸表類（1年度分）
⑤ 使用印鑑届
⑥ 委任状（支社・支店等に委任する場合）
⑦ 完納証明（国税：消費税納税証明書・県税：写し可）
⑧ 福智町税（公共料金完納証明書）［町内業者のみ：原本］

■ 物品等
【ファイルの色：ピンク系】
① 中央公共工事契約制度運用連絡協議会（中央公契連）統一様式（A4版）
② 登記簿謄本（法人の場合）または身元証明書（個人の場合）
③ 財務諸表類（1年度分）
④ 委任状（支社・支店等に委任する場合）
⑤ 使用印鑑届
⑥ 委任状（支社・支店等に委任する場合）
⑦ 完納証明（国税・消費税納税証明書、県税：写し可）
⑧ 福智町税（公共料金完納証明書）［町内業者のみ：原本］

■ 注意事項
※ 上記各項目「⑦完納証明」は下記のとおり証明書を添付してください。ただし、支店等委任を受けている方は、受任者の納税証明を添付してください。
▶法人の場合…福智町税（公共料金完納証明）、県税（法人県民税・法人事業税［未納のない証明］）、国税（法人税・消費税および地方消費税［その3の3］）
▶個人事業主の場合…福智町税（公共料金完納証明）、県税（個人事業税・自動車税［県税について未納のない証明］）、国税（所得税・消費税及び地方消費税［その3の2］）
※ 申請書は、上記の番号順にとじてください。なお、A4版より小さい証明書等は、A4版白紙に糊付けし一緒にとじてください。

▶建設工事に係る「町外業者の受付」も含めて、内容を福智町公式ホームページに掲載しています。
http://www.town.fukuchi.lg.jp

▶申請者の最低限の資格要件として、審査を受けるためには、建設業にあっては次の①～⑧、建設業以外の者は⑤・⑧の各要件を備えていなければなりません。
① 申請する業種について建設業法の許可を受けていること
（建設業法に規定）
② 申請する業種について経営事項審査を受けていること
（建設業法に規定）
③ 中小企業退職金共済制度、建設業退職金共済制度または特定退職金共済組合のいずれかに加入していること
（国土交通省通達）
④ 労働者災害補償保険に加入していること
⑤ 町税および公共料金・県税・国税及び消費税を完納していること
⑥ 舗装工事については「舗装業者工事施工能力審査」を受けること
⑦ 常時連絡が取れる体制にあること
（事務所に事務員を常駐させていること）
⑧ 競争入札参加指名通知の連絡を取るため、福智町の執務時間を定める規則（平成18年福智町規則第1号）に規定する執務時間内（午前8時30分～午後5時15分まで）に連絡が取れること。
※ 専任技術者においては、3か月以上継続して雇用していることが条件になります。（雇用保険等の写しを提出していただく場合があります）
※ FAX番号を必ず記入してください。
問 福智町役場
財政課指導調整係
☎0947-22-7771

国から地方へ

平成19年からの税源移譲によって

住民税・所得税が変わります

▶きめ細やかな行政サービスが行えるように、平成19年から国から地方へ税源移譲が行われます。これまで都道府県や市町村は国が国税として集めた税源の中から補助金を受けていましたが、その行財政システムは必ずしも自主性が高いとはいえませんでした。このため、都道府県や市町村が自主的に財源の確保を行い、住民にとって本当に必要な行政サービスを自らの責任でより効率的に行えるよう、地方分権改革の一環として、国の所得税から地方の住民税へ税源が移譲されます。今回の税源移譲では、所得税と住民税を合わせた負担額が変わらないように制度設計されています。ですから税源移譲で住民税が増えても、その分、所得税が減るため、負担額は変わりません。

【所得税】平成19年1月分から適用
4段階の税率を6段階に細分化
（所得税と住民税を合わせた税負担が変わらないように制度設計）

【住民税】平成19年6月分から適用
3段階の税率を一律10%に
（都道府県民税4%・市区町村民税6%）

※ 給与所得者の場合、平成19年1月から所得税が先に減り、その後平成19年6月から住民税が増えることになります。
※ 下表（具体例2）の夫婦＋子ども2人の世帯の場合、子どものうち1人が特定扶養親族に該当するものと想定しています。
※ 下表では、一定の社会保険料が控除されるものとして計算しています。
▶下表は、税源移譲による負担変動を示すものです。このほか平成19年から定率減税が廃止されるなどの影響があることにご留意ください。

具体例1．独身者の場合

給与収入	前後区分	所得税	住民税	計	負担増減額
300万円	税源移譲前	124,000円	64,500円	188,500円	±0円
	税源移譲後	62,000円	126,500円	188,500円	
500万円	税源移譲前	258,000円	163,000円	421,000円	±0円
	税源移譲後	160,500円	260,500円	421,000円	
700万円	税源移譲前	474,000円	307,000円	781,000円	±0円
	税源移譲後	376,500円	404,500円	781,000円	
1000万円	税源移譲前	966,000円	553,000円	1,519,000円	±0円
	税源移譲後	868,500円	650,500円	1,519,000円	

具体例2．夫婦＋子ども2人の世帯の場合

給与収入	前後区分	所得税	住民税	計	負担増減額
300万円	税源移譲前	0円	9,000円	9,000円	±0円
	税源移譲後	0円	9,000円	9,000円	
500万円	税源移譲前	119,000円	76,000円	195,000円	±0円
	税源移譲後	59,500円	135,500円	195,000円	
700万円	税源移譲前	263,000円	196,000円	459,000円	±0円
	税源移譲後	165,500円	293,500円	459,000円	
1000万円	税源移譲前	688,000円	442,000円	1,130,000円	±0円
	税源移譲後	590,500円	539,500円	1,130,000円	

インタビュー

藤本悠介さん

Yusuke Fujimoto

福智町出身、郷土期待の若手力士

年に一度の里帰り 悔しさバネに心機一転

「1年ぶり、やっぱり故郷はいいですね」。福智町でただ一人の郷土力士・藤本悠介さん（神崎出身・阿武松部屋）。11月27日に町内保育所を訪問し、力士にあこがれのまなざしを向ける子どもたちと無心でふれあった。子どもたちに夢を与え、そして子どもたちからパワーをもらった。藤本力士が1年のうちで実家に帰れるのは、お盆でも正月でもなく、このときだけ。九州場所を終えた後、短くて貴重な3泊4日の里帰りをむかえた。

「勝ち越して帰れず、応援してくれたみなさんに申し訳ないです」。九州場所は2勝5敗と不振に終わった。平成15年に16歳で角界入りして以来、地元では3回とも勝ち越してきた。しかし4回目の年に予期せぬ屈辱を喫した。

「肩に力が入って、空回りしていました。『勝とう』という意識が強く、気持ちばかりが前に出てしまって…」。初日から3連敗、開き直って迷いを捨て、2つの白星を取り戻した。

「自分の相撲は、押し一本でいくスタイル。体が大きくはないので『一気の攻め』を身につけなければ、上に上がれません。ザンバラ頭のころの、駆け出しの初心に返ります」と、彼は故郷で気持ちを新たにした。

プロ入りした3年前、初の帰省での表情。

明徳義塾を経て角界入り 2場所目で序ノ口優勝

稽古の自信は人一倍ある藤本力士。「1つ得て、ほかを失うことなく、得たことを当たり前にできるように」と、地道にコツコツ、ここまでやってきた。

朝5時に起き、柔軟体操とテーピング。6時から12時までみっちり稽古に汗を流す。常に問題意識を持って土俵に立つ毎日、彼にとって無駄な日は1日もない。角界では先輩や後輩、年齢にかかわらず、食事も風呂もすべて番付順。運悪く番付を落としたときも彼は率先して後輩の後片付けをした。

「横着をすると自分に帰ってきます。相撲だけではなく、ゴミが落ちていたら拾う気持ちや、あいさつとか、礼儀を重んじる心が必要だと思うのです」。そうして藤本力士は、心・技・体を鍛錬し、年々番付を上げた。この九州場所では、幕下東39枚目で土俵に立った。

そんな彼は、小学校4年生のころ、貴闘力関と出会った瞬間から相撲の道を志したという。8人きょうだいの4番目に生まれ、幼いころから父・壽雄さんが経営する米屋（現在の㈱藤食糧）で米袋をかつぎ、手伝いながら体を鍛えた。金田小では、クラスで一番体が大きな力自慢。すでにそのころからプロという目標を持って行動してきた。やがて「強い相手の中でもまれたい」と、横綱・朝青龍も育った相撲の強豪・明徳義塾（高知）に中学から入学。3年生の時には全国大会で団体優勝に貢献した。その後、同高校に進学したが「強くなるため、プロで徹底的に頑張りたい」と、1年の終業式で退学。糸田町出身の阿武松親方（元関脇・益荒雄）率いる阿武松部屋に入門する。そして、プロの世界に飛び込み、2場所目となる秋場所で7戦全勝。見事「序ノ口優勝」を飾った。

こだわってきた正攻法に 勝負強さ加え「挑む年」

身長178㎝、体重130kg。力士の大型化に拍車がかかる近年、彼は決して体格に恵まれている訳ではない。

「自分は素質がないので、人の2倍も3倍も努力するしかありません。与えられた状況で、全場所、最高の状態で臨んでいるつもりです。ですから、負けても絶対に言い訳はしたくない。自分が選んだ道、勝つか負けるかの世界ですから、やって勝つしかないのです。自分との戦い、ひたすら努力で切り開いていきます」。

彼の力強いコメントを父・壽雄さんに伝えると「負けは負け、言い訳をしないので安心した。商売でも何でも言い訳で逃げていては前進はない。九州場所では本人が一番屈辱を味わっている。悠介はやるしかない。今回の経験がきっと糧になる」と期待を込めた。

8人きょうだいの藤本家は、それぞれがスポーツに打ち込み、優秀な成績を残している。特に力士の3つ年上の姉・典子さんは女子アマ選手権で優勝経験を持つゴルフプレーヤー。女子プロ昇格を目前にした姉は、彼にとって気になる存在だ。互いの活躍もスランプも、あらゆる面で刺激になってきた。

「両親の無言の優しさ、きょうだいのがんばりも励みになります。そして故郷の声援がとても心強いです。番付表の出身も金田町から福智町に変わり、さらに多くの人たちが応援してくださっている。そのことを帰ってきて実感しますし、自分の原点であるここから、一から出直す気持ちで、ひたむきに願い続け、やっていきます」。

一点の迷いもない表情で語った藤本力士。目指すは「故郷の子どもたちに勇気を与える関取」だ。

「故郷が自分の励みであるように、故郷の人たちが自分のがんばりを励みにしてもらえるような姿を見せたいです。『無理だ』と思ったらその時点で終わり。2007年は勝負の年です」。

一瞬の駆け引きで勝負を決める「先手必勝の相撲」を目指す藤本力士。九州場所を終え、今までこだわってきた正攻法の相撲に「勝ちへの執念」が加わった。新しい年、彼は幕内上位という目標に向かって、自らを一気に押し上げようとしている。その背には、ピンチの時こそ声を張り上げる「福智の声援」が、追い風となって届くはずだ。

11月27日に、宝見保育園、方城地区4園、中尾保育所など、たくさんの町内園児たちと交流した。

故郷が自分の励みであるように、子ども達に勇気を与え、故郷の励みになる姿を土俵で見せたい。

profile　藤本悠介【ふじもと・ゆうすけ】さん（阿武松部屋）

▶郷土期待の若手力士。金田小卒業後、相撲の名門・明徳義塾（高知県）に入学。平成13年度全国都道府県中学選手権で団体優勝。平成15年に同高校を中退し、阿武松部屋に入門する。2場所目に7戦全勝で序ノ口優勝。平成18年九州場所番付、幕下東39枚目。昭和61年、福智町神崎生まれ。20歳。

年々体大きくなっている藤本力士、父の経営する食味倶楽部「藤」で親方の化粧まわしを着けた初土俵の写真をバックに。

金田ジュニアクラブ創立 30 周年記念大会

節目の年に 52 チームが集う

金田ジュニア創立 30 周年を記念した少年野球大会が、11 月 26 日から田川地区の各球場で催されました。第 1 期卒部生の嶌田英志監督率いる金田ジュニアAチームが、保護者の熱い声援を受け、決勝まで駒を進めました。成和ライオンズ（佐賀）との決勝戦は、序盤にチャンスを作りましたが 0-3 で惜しくも準優勝。記念の大会を最終日まで盛り上げました。

↑雨の中行われた 12 月 9 日の決勝戦。集中力を切らさず、こん身の一球。

↓三保ダム、玄倉川での体験活動を経て、分科会では各班ごとに意見を発表。

世界子ども水フォーラム・フォローアップ in 丹沢

全国から選ばれた37人中 4人が福智町

11 月 23 日から 3 日間、神奈川県山北町で回開催された「世界子ども水フォーラム・フォローアップ in 丹沢」に、町内から 4 人が参加しました。全国から選ばれた 37 人中、中尾浩子さん（嘉穂高校 3 年）名嶋優さん（赤池中 2 年）瀬戸渓太さん（赤池中 2 年）中尾恵子さん（方城中 1 年）が丹沢湖畔を訪れ、日ごろの活動の成果を発表しました。

↓ボールの握り方を優しく教える山倉和博さん。質問コーナーでは、プロ野球のことをたくさん話してくれました。

親子でキャッチボール

山倉さん（元巨人）の手ほどき

キャッチボールで親子のコミュニケーションを深める「親子でキャッチボール」が 12 月 10 日、福智町屋内競技場で行われました。町内から参加した親子 55 組 110 人は、元読売ジャイアンツ山倉和博さんの指導を受け、さわやかな汗を流していました。金田小 4 年、福島孝輔くんと参加した母美弥子さん（七十石）は「力強いボールに息子の成長を感じました。手が痛かったけどうれしかったので、わたしも思いっきり投げました」と話していました。

第 7 回福智町弓道大会

全国レベルの見応えある射技

静まりかえった空気を切り裂く弓の音。福智町弓道大会が 12 月 10 日に、昨年オープンしたばかりの福智町弓道場で開催され、町内外から約 370 人が参加しました。全日本・国体クラスの有段者が多数参加したハイレベルの大会で、福智町から出場した吉田泉さん（日王弓友会 J）が日ごろの成果を発揮し、個人の部一般女子で見事優勝を飾りました。

↑心を落ち着かせ、28 メートル先にある直径 36 センチの的を狙う選手たち。

↓ビデオを見た後に登場し、子どもたちとふれあった「人KENまもるくん」。

金田小学校人権教室

友だちと仲良くするよ

11 月 30 日、田川人権擁護委員協議会が金田小で 1 年生 75 人を対象に人権学習を行いました。クラスで起きた仲間はずれについて描かれた啓発アニメ「プレゼント」をみんなで視聴。その後、人権について学年で話し合いました。今後も友だちと仲良くすることを約束した児童たちは、相手の気持ちをよく考えることの大切さを学んだようです。

第 1 回 筑豊地区少年空手道親善大会

空友会が11ものメダルを獲得

12 月3日に後藤寺小で筑豊地区少年空手道親善大会が開かれ、131 人の小中学生が参加。福智町の空友会が好成績を残しました。【小学生未満】優勝:安延光司（5歳）・2位:渡辺春斗（5歳）【小学2年男子】優勝：小松誠【小学3年男子】2位：安延樹哉【小学5年生男子】2位：吉松篤矢【小学4・5・6年女子】3位：木村こゆき（4年）【中学1年男子】2位:植田透【中学2・3年男子】優勝：植田和彦（3年）・2位：高倉一寿（2年）・3位：田中翔大（3年）【中学女子】2位:藤村果恵（1年）以上すべて組手の部（敬称略）

←筑豊地区で初めての開催となる親善大会で好成績を収めた「空友会」の少年拳士たち。

↓「ドラえもん」「となりのトトロ」などおなじみの8曲を楽しみました。

北九大マンドリンクラブが上野小学校で演奏

初めて目にする耳にする楽器

12 月 13 日、この時期に「天郷青年の家」で毎年合宿を行っている北九州市立大学マンドリンクラブの 19 人が、上野小を訪問しました。児童たちは初めて見る楽器に興味津々。楽器の説明にうなずいた後、珍しい楽器から奏でられる音色に聞き入っていました。アンコールでは、おなじみの曲に合わせて合唱し、うれしい音のプレゼントに大喜びでした。

宮原 寿佑里ちゃん1歳
平成18年1月26日生まれ
（赤池 小藤・女の子）

中村 海美ちゃん1歳
平成18年1月21日生まれ
（上野 板取・女の子）

中村 竜也くん1歳
平成18年1月20日生まれ
（神崎 福丸・男の子）

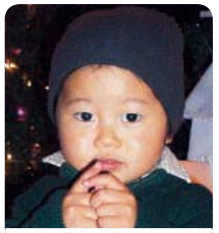
宇戸 徳飛くん1歳
平成18年1月15日生まれ
（赤池 下寿町・男の子）

森野 星嵐くん1歳
平成18年1月14日生まれ
（上野 大浦団地・男の子）

朝部 数也くん2歳
平成17年1月22日生まれ
（伊方 中原・男の子）

近藤 杏胡ちゃん2歳
平成17年1月12日生まれ
（神崎 南木・女の子）

大坪 誠也くん2歳
平成17年1月7日生まれ
（金田 宝見・男の子）



吉田 一輝くん2歳
平成17年1月4日生まれ
（金田 宝見・男の子）

田中 彩桜ちゃん2歳
平成17年1月2日生まれ
（金田 新町・女の子）

寺川 修吾くん1歳
平成18年1月30日生まれ
（金田 宝見・男の子）

お誕生日の記念にお子さんの笑顔を紙面に飾ってみませんか。2月に誕生日を迎える満1歳から3歳までのお子さんの写真を募集します。1月15日㈪までにお申し込みください。デジカメの場合はデータをお持ちください。
▼申し込み問い合わせ先
役場企画課広報広聴係
（本庁2階）☎22-7766

髙林 陽花里ちゃん3歳
平成16年1月16日生まれ
（上野 徳市団地・女の子）

佐藤 朱里ちゃん3歳
平成16年1月16日生まれ
（神崎 柿添団地・女の子）

皆川 琴音ちゃん3歳
平成16年1月12日生まれ
（伊方 見六・女の子）

和田 美咲希ちゃん3歳
平成16年1月3日生まれ
（赤池 上の原団地・女の子）

渡辺 彪くん2歳
平成17年1月24日生まれ
（金田 昭和町・男の子）

かしこく たくましく やさしい 弁城っ子発表会

→全校児童の心が一つになった

12月1日、保護者や地域の人を招いての発表会が、弁城小学校で行われました。中でも学年ごとの詩の朗誦や全校朗読は参加者に感動を与え、堂々と発表している成長した我が子の姿に、思わず涙を流す保護者もいたほどでした。また、以前から交流のある北九州朝鮮初級学校の子どもたちも参加し、詩の朗読や歌を披露。心に残る一日となったようです。

そよ風保育園の発表会

そよ風保育園の発表会が12月9日に行われました。4週間前から練習を重ねてきた園児たちの立派な演技を見に、およそ200人の保護者が来園しました。年長のぶどう組にとってはこれが最後の発表会。自分で書いたことわざの発表や、合奏、そして最後は一番力を入れて練習した「よさこいソーランロック」を披露し、たくさんの拍手が送られました。

→力強い演技にアンコールの嵐

母子寡婦福祉会生け花教室

→すばらしい作品ができました

福智町母子寡婦福祉会主催の生け花教室が12月8日に行われ、10人が参加しました。太田敦子先生を講師として招き、1人1点ずつ作品を完成させました。母子寡婦福祉会では、今後もこのように幅広く活動していく仲間を募集しています。興味を持たれた人はぜひ、お気軽にお電話ください。
問 泉 保子 会長 ☎22-0830

俳句

隣保館・みのり句会　池田一歩選

日を乗せて散り来る黄葉去来の碑	選者	吟
高千穂の星座の澄んで里神楽	小場	妙子
春菊の種蒔き終えし安堵かな	丸山	鈴子
冬の日の静かに沈む壇の浦	吉田	弘
脈をとるナース明るきカーデガン	安田	健一
猪鍋を振舞ふ峡の収穫祭	亀谷千恵子	
暖冬か琉球朝顔咲きつづけ	神田恵美子	
稲刈を終えし田圃に群れ雀	宇野八重子	
野仏に錦着せかけ蔦紅葉	森	玲子
秋郊やリュックに詰める握り飯	白石	幸子

福智町金田公民館俳句教室　岩井鬼童選

霜柱蜑の戸口の火伏札	日比生利子	
大正の暗さを秘めて火吹竹	永尾喜美江	
四脚門冬に構へて仁王立ち	建部三由紀	
留守番の婆の居場所の縁小春	松岡	蔦枝
蜻焼を返す手捌き文化祭	香月	冨子
凩や絵馬からからとふざけあひ	大井	良治
日に風に力を抜かれ掛大根	長副美恵子	
柿落葉菜にしたき色に散る	迫田	昌子
田原坂墓地にあまたの帰り花	今井三千代	
釣られたるままにふくれし河豚提灯	花石かほる	

方城老人大学俳句教室　池田一歩選

去来の碑苔古り黄葉散ることよ	選者	
穫入れを了えてやさしくなりし母	白石	鶴代
枯葉積みかすかに見えて無縁墓	杉	フジエ
舫船軋んで冬の港町	松本美根弥	
神無月宮の朝霧濃かりけり	藤井耿之介	
打ち解けて四方山話秋の宿	永末	公恵
振り向けばすでに灯火の紅葉寺	尾崎	和子
日傘まだほしき小春の園めぐり	野口	定子
被災地の片付け急ぐ背に雪近く	渡辺	一枝
冬薔薇一と日の旅を楽しみぬ	野村	鈴子

Doctor's Message ▶ No.9
まちのかかりつけ

腰痛・肩こり・体形改善は薬に頼らず適度な運動を！

今月の先生

方城診療所
浅野 茂利 所長

問 方城診療所
☎ 22-0242

みなさんは聞いたことがあるでしょうか？「ピラティス」「ルーシーダットン」「ブトコン（武道魂）」。「ヨガ」は知っている方が多いと思います。これらは今流行のエクササイズ、つまり健康体操です。最近ではますます健康志向が高まって、体操することで腰痛や肩こりがとれ、さらに姿勢やスタイルがよくなると人気が集まっています。中でも「ピラティス」はインナーマッスル（体の深部の筋肉）を鍛えてしなやかで引き締まった体を作ると、ご婦人がたに一番人気のようです。ほかにも道具として「バランスボール」「ストレッチポール」を利用した体操や、健康器具の「乗馬マシン」も人気があります。実際にやったことがあるかたもいると思います。

体操や適度な運動の良い点は、体の痛みが軽くなったり、体重減少につながったり、最近話題のメタボリックシンドロームの予防改善に役立つことです。ニュースでは厚生労働副大臣が自らの体形改善にのりだし、減量作戦を開始。食事を見直してウオーキングを続けることで、体重84キロ、腹囲100センチのメタボリックシンドローム体形がどう改善していくのか、その経過を厚生労働省のホームページで公開しているとのことです。ぜひ日本中で健康増進のための大きな流れになってほしいものです。

整形外科の外来では、腰痛・肩こりの患者さんが後を絶ちません。そう言う私も腰痛持ちで、月に何回かは薬を飲んだりシップを貼ったりしています。診療中は椅子に座っての仕事が多く、腰にとっては運動不足になっているのでしょう。ときどきウオーキングしたりスポーツをしたり心がけているので、ぎっくり腰を起こした数年前よりは随分よくなっています。腰痛・肩こりはその基に、変形や椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症、悪性の病気も隠れていることがあるので、一度はしっかり診察を受けないといけませんが、そのほとんどが筋・筋膜性の疼痛です。つまりは筋肉のこわばりや疲労からくる痛みです。自分の経験であり、外来でいつも患者さんに説明することでもありますが、筋肉性のしつこい痛みはその原因の主が筋肉の減少と硬さにあると感じています。筋肉がしっかりあっても硬い筋肉では動きの妨げになり痛みを発生します。

柔軟な筋肉でも量が足りないと体を支えることが困難となり、姿勢が崩れて疲労の原因となります。大切なのは体形に合った適度な筋肉の量と、その柔軟性なのです。これを解決するにはやはり体操や適度な運動しかないわけで、自分の努力なしで薬まかせで治る方法はないのです。

インナーマッスルを意識した体操は重要だと思います。体の深部の筋肉のバランスが崩れると背中が丸くなったり下腹が出っ張ったりして姿勢が悪く、これを矯正しても短時間しか維持することができません。しかも慢性的な筋肉痛が続いてしまいます。「デューク更家のウオーキング」とまでこだわらなくても、毎日家の周りを数十分ウオーキングすることで十分いい結果が出ると確信しています。今どきの体操も飽きが来ないようにいろいろ工夫されています。テレビを見ながらティラミスを食べるよりは「ピラティス」を試してみてはいかがでしょうか。

→家にいながら、楽しく本格エクササイズができるバランスボール。運動をする時間を作るのが難しい人にもおすすめです。

Disease prevention ▶ No.8
ふくちの健康お悩み相談所

担当医：方城診療所
牟田 広実 副所長

←水ぼうそうに使ってはいけない解熱剤もあります。独自の判断で薬を飲ませるのではなく、必ず医師か薬剤師に相談してください。

こんなとき

子どもが水ぼうそうにかかりました。生活上での注意点を教えてください。

アドバイス

まず、よくたずねられる質問としてお風呂があります。患部を清潔にするという意味でも、発熱がなければ積極的に入れることをお勧めします。暖まりすぎるとかゆみが増すことも多いので、軽くシャワーをするのが良いでしょう。ただし発疹があるところをこすったりしないでください。化膿したり、広がったりするおそれがあります。

次に学校や保育園を休む期間ですが、すべての発疹がかさぶたになるまでは、ほかのこどもにうつす可能性があるので、だいたい1週間くらいは覚悟してください。かさぶたははがれてなくても大丈夫です。兄弟にうつりますかというのもよくたずねられます。6か月未満の赤ちゃんであれば、お母さんからの免疫（抵抗力）があるのでかからないことも多く、かかっても軽くてすむことが多いです。それ以上の年齢だとかかる可能性が高いですが、72時間以内であれば予防接種をすることでかかるのを防ぐことも出来るので、小児科で相談してみてください。

↑かきむしってしまうと、そこに細菌が感染しやすいので、かかせないようにすることが大切です。手をこまめに洗って清潔にし、つめも短くしておきましょう。

■健康に関するお悩みにアドバイスします。
企画課広報・広聴係までお気軽にお電話ください。☎（22）7766

Daycare center Fukuchi ▶ No.8
デイケアセンター福智

☎ 28-9511

“転ばぬ先”のデイケア福智

No.7【応用歩行訓練について】デイケアセンター福智

高齢者にとって、低下しやすい筋力は、下肢の筋力と腹部の筋力であるといわれています。体幹や下肢の筋力低下、バランス感覚の低下に加え、柔軟性や敏捷性、瞬発力の低下は、転倒を引き起こす原因となります。その他、自立神経機能や脳の機能、視覚なども大きく関係しています。また、転倒することにより、骨折や、寝たきり、閉じこもりにつながることも多く、その予防が大変重要です。

デイケア福智では、転倒予防や歩行能力の維持、向上のため、機能訓練の一環として、応用歩行訓練を実施しています。対象となるご利用者お一人お一人の身体的状況や能力に合わせて、トレーニングメニューの内容や回数、負荷などを設定し、日々、取り組んでいます。

＊段差昇降歩行
＊段またぎ歩行
＊横歩き
＊交叉歩行　など

トレーニング1 段差昇降歩行

バスの乗り降りに役立つと利用者からも好評です。

トレーニング2 段またぎ歩行

足のあがりを促し、歩行の際のつまづきを防止します。

情報ひろば

福智町役場本庁 ☎ 22-0555(代表)／赤池支所 ☎ 28-2004 ／方城支所 ☎ 22-0520

新着情報は福智町公式ホームページで　http://www.town.fukuchi.lg.jp

確定申告と納税は正しくお早めに

田川税務署

所得税、個人事業者の消費税および地方消費税、贈与税を申告、納税する時期が近づいてきました。

これらの税はあなた自身が所得などを計算し、税金を算出して納付する申告納税方式をとっています。所得金額や税額は正しく計算し、申告と納税は期限内にお済ませください。

平成18年分の所得税の確定申告に関する税務署での相談や申告書の受付期間は2月16日㊎～3月15日㊍です。なお、還付申告をされるかたは1月から受け付けていますので、早めに申告書の提出をお願いします。

例年、3月に入ると税務署などの窓口は大変混み合いますので、早めに申告書の提出をお願いします。確定申告により税金が戻るかたは、年の中途で退職した後、就職しなかったかたや退職所得があるかたなどです。詳しくは問い合わせください。

▶国税電子申告・納税システム～ｅ－Ｔａｘ（イータックス）から届出をすることにより、インターネットで国税に関する様々な申告や申請、納税などができます。

▶税務署の閉庁日（土・日曜は、税務署の窓口での相談は行っていませんが、郵送等または税務署の時間外収受箱に投函することにより、提出することができます。

問 田川税務署 個人課税部門
☎ 44－0432
問 福岡国税局 電話相談センター
☎ 092－431－5100（国税全般）

特別給付金が支給されます

福岡県庁国保・援護課

戦傷病者を永年介護されてきた戦傷病者の妻に支給する給付金です。

受付期限　平成21年9月30日まで
受付窓口　福智町役場福祉課福祉係
詳しくはお問い合わせください。

問 福岡県国保･援護課
☎ 092－643－3302

心配ごと相談

福智町社会福祉協議会

①日時　1月10日㊌10時～15時
会場　コスモス保健センター
②日時　1月17日㊌10時～15時
会場　方城福祉会館
③日時　1月24日㊌10時～15時
会場　金田社会福祉センター
④日時　1月31日㊌10時～15時
会場　コスモス保健センター
問 福智町社会福祉協議会
☎ 22－6631

社会福祉士巡回相談

福智町役場福祉課介護保険係

①日時　1月10日㊌
10時～15時30分
会場　福智町本庁舎1階会議室
②日時　1月26日㊎10時～12時
会場　方城支所町民相談室
③日時　1月26日㊎
13時30分～15時30分
会場　赤池支所1階会議室
問 役場福祉課介護保険係
☎ 22－7763

福岡県巡回交通事故相談

福岡県交通事故相談所

交通事故でお困りのかたはお気軽にご相談ください。弁護士による面接相談も無料で受けることができます。なお秘密は厳守されます。

日時　1月15日㊊10時～16時
（受付は15時まで）
会場　田川市役所（市民課）
☎ 44－2000
問 福岡県交通事故相談所
☎ 092－622－0403

補聴器相談を行います

福智町役場福祉課福祉係

日時　1月12日㊎9時～10時
会場　福智町役場本庁舎
問 役場福祉課福祉係
☎ 22－7763

子育て支援センター1月の行事

子育て支援センター

① **誕生会** 11日㊍
② **演劇鑑賞** 19日㊎
（人形劇ぱぺっと、ワンぴいす）
③ **親子リズム遊び** 25日㊍
開催場所　子育て支援センター
開始時間　10時～（参加無料）
問 子育て支援センター
☎ 22－2401

豊前吉右衛門窯「窯開き」

豊前吉右衛門窯

独自の「吉右衛門様式」と呼ばれる繊細かつ高雅な作風で広く知られている豊前吉右衛門窯（弁城）。その年に一度の窯開きおよび展示会が1月に同窯で開催されます。

先代・永末吉右衛門（晴美）さんが生み出した刻染付の技法を継承する二代目・永末修策さんの新作発表・販売をはじめ、展示会では先代作の初公開作品も会場に並びます。この機会にぜひ、福智町が誇る伝統技法をどうぞ間近でご覧ください。

窯開き開催　1月6日㊊～
問 豊前吉右衛門窯　☎ 22－5455

高年齢者就業支援セミナー

福岡県筑豊労働福祉事務所

日時　1月29日㊊13時30分～16時
場所　筑豊ハイツ（飯塚市仁保）
対象　起業、創業を考えている中高年齢者（受講料無料）
問 福岡県筑豊労働福祉事務所
☎ 0948－22－1149

県乳幼児医療費支給制度拡充

福智町住民課医療・保険係

平成19年1月1日から3歳未満の乳幼児（3歳誕生日の前日の属する月の末日までの間にあるお子さん）に限り「初診料・往診料の自己負担分相当額」の医療機関窓口での支払いが不要になります。

なお入院時食事代の本人負担および医療保険の適用を受けない費用は、現行どおり本人負担となります。（3歳以上の改正はありません）ただし、乳幼児医療費支給制度は各市町村が実施している制度で、市町村によって制度が異なる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

問 役場住民課医療・保険係
☎ 22－7761

「国民年金保険料」税額控除対象

福智町役場住民課医療・保険係

国民年金保険料は、全額が社会保険料控除（非課税）の対象になります。確定申告をする場合、社会保険料（国民年金保険料）控除証明書が必要です。なお、後から納付した保険料分の領収書も必要です。証明書は11月上旬に社会保険庁から送付されていますので、大切に保管してください。

問 社会保険庁控除証明書専用電話
☎ 0570－00－9911

弁護士による無料法律相談

福岡県母子寡婦福祉協議会

母子家庭および寡婦・父子家庭の無料法律相談を実施しています。

日時　1月11日㊍・23日㊋・2月6日㊋・27日㊋・3月13日㊋・27日㊋　18時30分～20時30分
場所　クローバープラザ6階
（相談日前日までに要予約）予約変更が生じた場合は、早急にご連絡をお願いします。（受付は先着順で1日4人、1人あたり相談時間は30分）

問 福岡県母子寡婦福祉協議会
☎ 092－584－3922

自衛官採用試験

自衛隊福岡地方協力本部

受験区分　2等陸・海・空士（男子）
受験資格　18歳以上27歳未満の人
受付期間　1月15日㊊～2月15日㊍
試験場所　陸上自衛隊福岡駐屯地
試験日　2月17日㊏（若干名募集）
入隊　3月下旬～4月上旬
問 自衛隊福岡地方協力本部飯塚地域事務所　☎ 0948－22－4847

福祉の職場合同就職面談会

福岡県社会福祉協議会

日時　2月2日㊎10時30分～16時
受付　10時～15時（随時）
場所　クローバープラザ（春日市）
対象　福祉施設への就職希望者および卒業予定の学生（高校生参加不可）
参加料　無料（申込不要）履歴書を複数ご用意ください。託児あり。
問 県社会福祉協議会人材・情報課
☎ 092－584－3310

たがわ地域で遊ぼうサークル紹介

田川郡児童自立支援連絡協議会

「たがわ地域で遊ぼうサークル紹介」改訂版への掲載希望を募集します。

搭載内容　事業（チーム）の名称、活動場所・日時、会のアピールなど
対象事業　スポーツ・文化・子育てサークル、子ども会、郷土芸能など
申込期限　1月31日㊌
（申込用紙は役場福祉課窓口）
問 田川郡児童自立支援連絡協議会
☎ 42－9315

直方聾学校幼稚部入学者募集

福岡県立直方聾学校

募集期間　1月29日㊊～2月9日㊎
対象者　聴覚障害のため聞こえやことばの発達で困っている幼児（平成19年4月1日現在満3～5歳の幼児）
入学者選考日　3月6日㊋
問 福岡県立直方聾学校
☎ 0949－26－5351

Topics & Info

福智町青少年健全育成講演会

福智町青少年育成町民会議

講師　東京大学大学院
汐見 稔幸　教授
演題　「クレヨンしんちゃん親子学」～野原家にみる今どきの子育て～
日時　1月12日㊎開演19時
18時30分～21時
会場　福智町地域交流センター
（旧方城町地域交流センター）
問 町教育委員会 生涯学習係
☎ 28－2046

美化運動のお金を社協に寄贈

福智町「幸の会」

11月27日に福智町「幸の会」（山北 強会長・会員数約30人）が方城町のときから1年間、環境美化運動でアルミ缶や新聞紙などを売って集めたお金13万5,573円を町社会福祉協議会に寄付しました。ありがとうございました。

福智町議会の日髙　進 議員（市場・市津）が12月3日に急逝されました。赤池町議会を含め、およそ7期27年にわたり町の発展に寄与されました。ご冥福をお祈りいたします。

「発達障害」

テレビドラマでも取り上げられた自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥・多動性障害などを「発達障害」とよんでいます。発達障害の人は100人に6～7人いるといわれていますが、今まで「障害」とはみなされていなかったため、「落ち着きがない」「授業に集中できない」「わがまま」「雰囲気が読めない」「トラブルメーカー」「なまけている」などと思われ、その結果家庭や地域で孤立したりすることが少なくありませんでした。

主な発達障害の分類

1. 自閉症
「対人関係の障害」「言葉などのコミュニケーションの障害」「特定の分野への強いこだわりあるいは想像力の障害」の3つの障害をあわせ持つ。その中でも、明らかな知的障害が無い場合を「高機能自閉症」、ことばの障害が無いか軽く、知的障害が無い場合を「アスペルガー障害」という。

2. 学習障害（LD：Learning Disorder）
「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」などが著しく困難なもの。

3. 注意欠陥・多動性障害
(AD/HD：Attention Deficit / Hyperactivity Disorder)
多動、不注意、衝動性のため学業や仕事が著しく困難なもの。

発達障害は親のしつけのせいじゃない!!

発達障害は脳機能の障害によって起こっているといわれていますが、その原因は不明です。しかし、周囲の理解不足のために、親（特に母親）の愛情不足や甘やかしのせいだと誤解されることが多く、親たちはとてもつらい体験をしています。周囲の人々が理解し、支えてあげることが大切なのです。

早期発見・早期療育が安心して生活できる第一歩

発達障害はできるだけ早期に発見し、適切な対応や環境を整えることで、障害に伴う問題を減らすことができ、本人や家族が安心して生活することができます。

発達障害者支援法では、市町村が発達障害を早期に発見し、乳幼児期から大人になるまでの一貫した支援を行うよう義務付けられています。そこで、早期発見・早期療育の場として福智町では乳幼児健診の内容を充実し、さらに臨床心理士や言語聴覚士による個別相談を実施しています。そこでは遊び（遊戯療法）を通して発達を促していますが、必要に応じて専門の医療機関等に紹介したり、通園している保育園などと連携して日々の生活の中での療育をすすめています。子どもが健やかに成長・発達できるように以下の機関が支援します。

コスモス保健センター　☎ 28-9500
金田保健センター　☎ 49-7080
方城保健センター　☎ 22-5101
発達障害者支援センターゆう・もあ　☎ 46-9505

保健の掲示板

1月16日から2月15日まで

1月17日 水【3歳児健診】
3歳～3歳1か月児を対象（個人通知します）
会場：コスモス保健センター / 受付：13:00 ～ 14:00

1月23日 火【ポリオ（小児マヒ）予防接種】
3か月～18か月児を対象（7歳5か月まで接種可）
会場：方城保健センター / 受付：13:20 ～ 14:20

1月24日 水【乳幼児相談】
2か月児、身体計測・育児相談などの希望者を対象
会場：コスモス保健センター / 受付：10:00 ～ 11:00

1月25日 木【健康相談】
健診結果や介護など相談希望者を対象
会場：方城保健センター / 受付：9:30 ～ 11:30

1月25日 木【もぐもぐ教室（要予約）】
4か月～10か月児を対象とした離乳食教室
会場：コスモス保健センター / 受付：10:30 ～ 12:00

2月1日 木【よちよち教室】
1歳児を対象にした育児教室（個人通知します）
会場：コスモス保健センター / 受付：9:30 ～ 10:30

2月1日 木【こぐま教室】
就学前までのお子さんと保護者を対象とした親子教室
会場：コスモス保健センター / 受付：10:00 ～ 11:30

2月2日 金【4～5か月児健診】
4～5か月児を対象（個人通知します）
会場：コスモス保健センター / 受付：13:00 ～ 14:00

2月7日 水【7～8か月児健診】
7～8か月児を対象（個人通知します）
会場：コスモス保健センター / 受付：13:00 ～ 14:00

2月14日 水【健康相談】
健診結果や介護など相談希望者を対象
会場：コスモス保健センター / 受付：9:30 ～ 11:30

2月14日 水【乳幼児相談】
2か月児、身体計測・育児相談などの希望者を対象
会場：コスモス保健センター / 受付：10:00 ～ 11:00

問 コスモス保健センター　☎ 28-9500
問 金田保健センター　☎ 49-7080
問 方城保健センター　☎ 22-5101

☞ コスモス健診センター
2月受診希望者の申し込み受付中
直接、コスモス健診センター
☎ 28-5512までお申し込みください。

Event
パノラマたがわ（田川市郡のイベント情報）

【香春町】三井住友海上文化財団派遣コンサート
2月4日 日 13:30 開場 14:00 開演
（香春町町民センター）
NHK交響楽団トップメンバーによる室内楽団コンサートです。入場料は大人1,000円、子ども無料。
出演：山口裕之、川崎和憲、木越洋、佐川裕昭
広海滋子
曲目：ピアノ五重奏曲 イ長調「ます」など
問 香春町教育委員会教育課 ☎ 32-8410

Tax
おさめて安心（1月の税納期限）

■ **国民健康保険税** 7期 1月31日 水 が納期限です。
※ 納期限を過ぎますと100円の督促手数料が加算されます。

Population
ひとのうごき（福智町の人口）

■ **人口：**26,286人（前月比＋1人・前年比－9人）
男性：12,480人／女性：13,806人
（転入67人・転出58人・出生13人・死亡21人）
■ **世帯：**10,988世帯（前月比＋4世帯）
※平成18年11月末現在（住民基本台帳人口）

FUKUCHI 編集後記

▶「今年のカゼはたちが悪い」と毎年言っているように、年末にはやはり「今年もいろいろあったな」と毎度のことながら思ってしまう。年末恒例の「忘年会」、いいことばかり振り返って「望年」にしたいと、ついもう一杯…。しかし「飲んだら乗るな」が鉄則。「新年会」も「信念」をもってハンドルを握らないように。しかし、お酒とは関係なく、気のゆるみからカゼをひいてしまい、これまた、たちが悪くて長引きそう。健康もルールも自分で守らないと。(長野)
▶たくさんのおうちを訪問したイルミネーションのコーナー。個性豊かなイルミ同様に、取材に応じてくれた皆さんも十人十色。それに対する思いやエピソード、そしてたくさんの苦労話とさまざまなお話を聞くことができました。そんな皆さんに共通するのは「人に喜んでもらいたい」という気持ち。自分もいろんなエピソードを巻き起こしつつ、たくさんの苦労を味わいながらも、人に喜んでもらえる広報ふくちを作っていこうと決意を新たにしました。(昌太郎)
▶2007年、亥。年女になりました。未熟者ですが今年もよろしくお願いいたします。今号の特集記事のひとつ、イルミネーション。もともとキラキラ光る物が好きなので、寒さも苦にならず楽しく取材できました。しかも突然訪問したにもかかわらずとても親切に対応していただいて、福智町は人情味にあふれたすてきな町だということを再確認できました。この記事を見ていただいたみなさんにも、こういう穏やかであたたかい気持ちになってもらえたら幸いです。(日吉)

オーストラリア・ブリスベンでホームステイ

8泊9日の福智町中学生海外研修

オーストラリア第三の都市、クイーンズランド州の州都で人口約150万人のブリスベン。亜熱帯性気候に恵まれた都市が福智の中学生を迎え入れました。12月3日から11日まで9日間の日程で行われた福智町中学生ホームステイ海外研修。旧金田町からの継続事業で、今年で4回目を数えます。赤池・金田・方城中学校から12人が渡豪し、それぞれがホストファミリーの家で過ごしました。現地では英語の授業や子どもたちとの交流など、毎日が発見の連続。日常とはまったく違う環境の中で、一人ひとりが人の温かさや異文化に触れ、常夏の大陸で視野を広げました。

町長日誌

▼今年の干支は、亥である。わたしも、この世に生を享けて5度目の年男となるのをきっかけに、改めて亥について調べてみた。まず、字義から言えば「亥は十二支の第12番目。方位は、北から30度西の北北西の方角。時刻は午後10時ごろ、または午後9時ごろから午後11時までの間。月は旧暦10月。動物では猪が充てられている」とある。方位のこととなると、わかったようでわからない。また「亥の字は、イノシシまたは豚の骨格をたてに描いた象形文字で、骨組みができあがるの意を含んでいる」とあった。これには、なるほどと、少しわかった気になる▼さらに興味をそそられ、第二次世界大戦後の亥年の主な出来事や流行語を追ってみた▼昭和22年には日本国憲法が施行され、六・三制教育の開始により、新制中学が発足した。赤い羽根や学校給食、そして鐘の鳴る丘といった言葉が、しきりに人々の口の端にのぼった▼昭和34年になると、皇太子（現天皇陛下）ご成婚。ソ連宇宙ステーション「ルナ3号」で月の裏側撮影に成功と続く。世相を反映して岩戸景気と呼ばれる▼また、昭和46年を迎えると、6月に沖縄返還協定が調印され、ガンバラナクッチャというテレビCMが視聴者を元気づけた▼そして昭和58年。NHK朝の連続テレビ小説「おしん」が驚異的な視聴率をあげ、日本中を席巻した▼元号が変わって初めての亥年となった平成7年の1月には、6千3百人を越える犠牲者が出た「阪神・淡路大震災」が発生。いまだに哀悼の念を禁じえない。この震災から、安全神話の崩壊という言葉が使われ始めた▼こうして振り返ってみると、記憶に蘇ることばかりで、まさに「光陰矢のごとし」の思いである。はたして今回の亥年が、どんな歴史を刻むのだろうか。町民のみなさんお一人おひとりにとって、すばらしい年になることを願わずにはおれない。

浦田弘二